

芸術科（工芸） 学習指導案

1. 日時 〇年〇月〇日（〇）第〇時限
2. 場所 〇〇教室
3. 学年・組 第3学年〇組（〇〇名）
4. 単元（題材）名 「紙のポップアップ手法を用いたランプシェードの制作」

5. 単元（題材）の目標

- ・紙素材を加工し造形することで、素材と表現のかかわりを体感し、意図にあわせて表現方法を工夫し、創造的に表現をおこなう。（「A表現」（1）イ、〔共通事項〕）
- ・ポップアップの様々な手法を体験し、その構造と特徴を理解し、それを活かして制作方法を創意工夫し、独創的で造形的な表現をおこなう。（「A表現」（1）ア、〔共通事項〕）
- ・試作による発想を重ね、そこから全体の計画を立て、計画性と見通しをもった制作をおこなう。（「A表現」（1）イ）
- ・適切な用具の使用と、手順を工夫することで、素材の魅力を十分に生かす制作をおこなう。（「A表現」（1）イ）
- ・他者の作品の発想や構想の独自性と表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを感じ取る。（「B鑑賞」（1）、〔共通事項〕）

6. 教材観

紙という身近で手軽な素材を扱いながら、素材を生かした表現を体感する。そのことを他の工芸素材や工芸技法で表現する際に活かせるようにつなげていく。試作から得た表現のヒントを、いかに作品全体の計画的な構想につなげていくことができるか。思考力・発想力・表現力が求められる。

特別な施設や用具を必要としないので、取り組みやすい。

7. 生徒観

省略

8. 指導観

制作する中で素材が思いもよらぬ表情を見せることがあり、その魅力を感じ取り、作品に取り入れることで独創的で造形的に美しい作品が出来上がる生徒がいる。頭の中でアイデアを考えるだけでなく、素材を扱いながら発想することは、他の工芸素材においても生かせるポイントとなる。

細かく、地味な作業が続くので、不器用さを持つ生徒は苦手と感じる可能性がある。下書きの仕方や、用具の使い方など丁寧に指導する必要がある。

9. 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 適切な用具の使用と、手順を工夫することで、素材の魅力を十分に生かす制作をおこなっている。	① ポップアップ手法の体験から発想を広げ、試作し、全体の計画を立てることができる。	① 制作過程の中で発見したことをアイデアとして活かそうとしている。
② ポップアップの基本パターンについて、構造を理解している。	② 紙の立体表現による造形的な美しさを感じ取り、独創的で魅力ある表現をめざすことができる。	② 他者の作品の発想や構想の独自性と表現の工夫、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。
	③ 他者の作品の発想や構想の独自性と表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを感じ取っている。	

10. 単元の指導と評価の計画（全8時間）

時	学習内容	主な評価規準【観点】・（評価方法）等
第1・2時 （本時）	1. 発想や構想① ・ポップアップの基本的なパターンを制作してみて、その構造と特徴を理解する。 ・階段状の連続構成を制作し、立体的なランプシェードにポップアップの手法をどのように取り込んでいくのかを理解する。	・ポップアップの基本パターンについて、構造を理解しつつ、精度をもって美しく制作できている。【知識・技能】 ・手順を工夫し、素材にあわせた適切な加工をおこなっている。【知識・技能】 ・本時の目標を理解し、達成に向けて主体的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
第3・4時	2. 制作① ・階段状の連続構成を基本とし、他の手法を組み合わせるなどして、ランプシェードを制作する。	・階段状の連続構成を用いて立体的なランプシェードにするためにどのように加工するべきか、自ら考え解決しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ・他手法の組み合わせによっておこる立体的な見え方の効果を意識することができている。【思考・判断・表現】 ・手順を工夫し、素材にあわせた適切な加工をおこなっている。【知識・技能】
第5・6時	3. 発想や構想② ・ポップアップの仕組みと効果を理解したうえで、独自の表現を試作しながら考える。 4. 制作② ・試作から発想を展開し、ランプシェードを制作する。	・基本パターンから発想を広げ、独創的な視点から美しい立体を創ろうと工夫している。【思考・判断・表現】 ・手順を工夫し、素材にあわせた適切な加工をおこなっている。【知識・技能】
第7・8時	5. 仕上げ・鑑賞 ・作品を完成させ、全体で鑑賞する。制作にあたって考えたこと、作品から感じたことを説明し合い、意図と創造的な工夫、造形的な見え方などについて考え、ワークシートにまとめて、見方や感じ方を深める。	・制作の過程を振り返り、自己の発想を整理して伝えることができる。また、他者の作品の造形的な工夫を理解し、美しさを感じ取っている。 【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】

11. 本時の展開

（1）本時の目標

- ・紙という素材で美しい立体を制作するための加工方法を身につける。
- ・ポップアップの基本的なパターンを制作し、その構造と特徴を理解する。
- ・ポップアップの手法をランプシェードの形に作り上げていく方法を知る。

（2）本時の評価規準

- ・ポップアップの基本パターンについて、構造を理解しつつ、精度をもって美しく制作できている。【知識・技能】
- ・手順を工夫し、素材にあわせた適切な加工をおこなっている。【知識・技能】
- ・本時の目標を理解し、達成に向けて主体的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
それぞれのポップアップの構造を理解したうえで、丁寧に下書きをおこない、カット、折りをし、美しい立体をつくるができている。 出来たポップアップのそれぞれの特徴を理解できている。 制作を進める中で、より要領よく美しく制作するための工夫を自らおこなっている。	下書きをし、カット、折りをして立体をつくるができている。 制作を進める中で、より美しく制作するため加工方法や手順に気付き、できるようになる。	下書きの方法やカットの仕方、折り方などを個別に具体的に示して見せ、適切な加工方法ができるようにする。 ポップアップのそれぞれの特徴を個別に具体的に説明し、理解を進める。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 10分	- 授業全体のながれと目標の説明 8つの基本パターンについての説明 - 紙の加工方法についての解説	- 生徒が全体の見通しを立てることができるようにし、意欲をもって取り組めるようにする。 - 制作をしながら、それぞれの形の特徴についてよく感じ取ることをめざす。 - 美しさをめざす姿勢を持たせる。	
展開 80分	- ポップアップの基本パターンを制作してみて、その構造と特徴を理解する。 - 階段状の連続構成を制作し、立体的なランプシェードにポップアップの手法をどのように組み込んでいくのか理解する。	- 下書きや、カット、折りの制作状況を観察し、より美しくつくるための手法をアドバイスする。 - ひとつずつ、出来上がったポップアップについて、観察させる。制作を急ぎ、ただつくるだけにならないように気を付ける - ポップアップを連続させることで、ランプシェードの立体を作り上げることにつながることを理解させる。	- より美しい立体を制作するために、加工方法や手順を工夫している。 【知識・技能】(技能) - 出来上がったポップアップについて、その特徴をよく観察し、構造を理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
まとめ 10分	片付けと振り返り	本日の目標と学習した内容を振り返りシートに各自記入させる。その際、それぞれのポップアップの特徴について整理させる。	- 本時の目標を理解し、達成に向けて主体的に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - ポップアップの基本パターンについて、構造を理解している。 【知識・技能】(知識)

「紙のポップアップ手法を用いたランプシェードの制作」

生徒配布資料

1、課題テーマ

- ① ポップアップの様々な手法を体験し、その構造と特徴を理解する。
- ② それらの手法を組み合わせるなどし、ポップアップによる紙造形によって美しいかたちをつくりあげる。

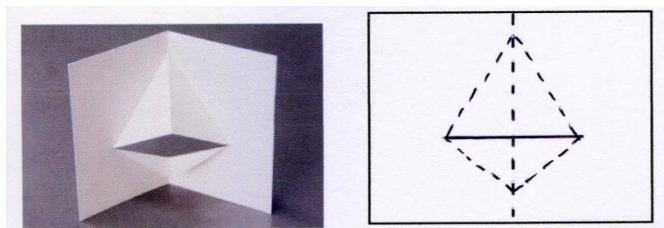
*試作などを繰り返しながら、効果的な扱い方をみだし、それを全体にどのように配置していくのか考えていく。

- ③ 計画性をもちながら制作をする。
- ④ 工作の美しさを求める。(そうすることで紙素材の美しさを引き出す)

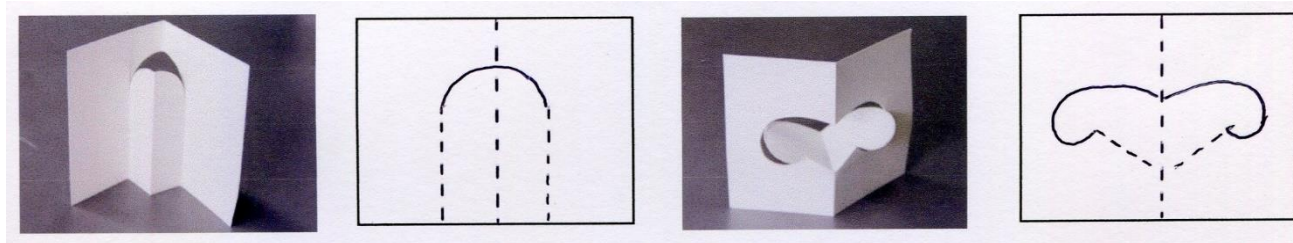
2、進め方

1) ポップアップの様々なタイプを制作し、その構造と特徴を理解する。

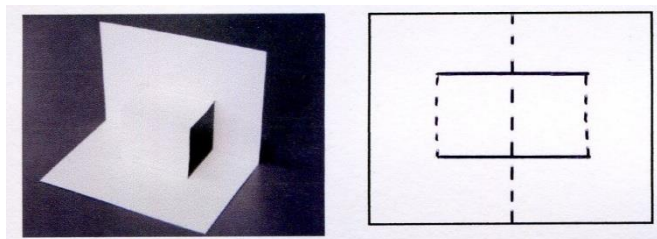
- ① 一本切込み（基本形）



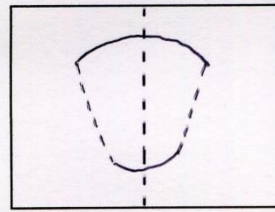
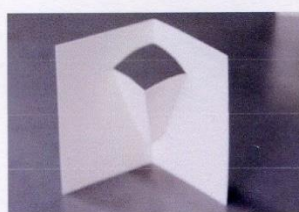
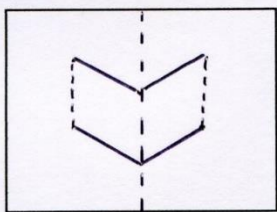
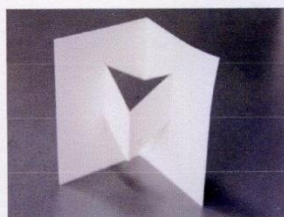
- ② 一本切込み（応用例）



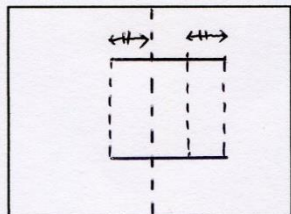
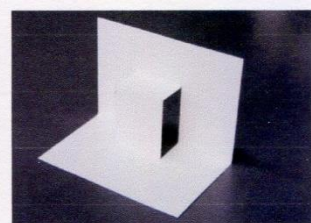
- ③ 二本切込み（基本形）



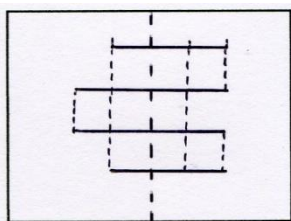
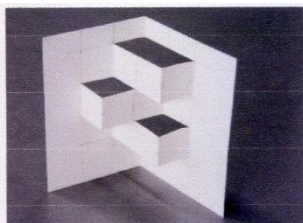
④ 二本切込み (応用例)



⑤ 非対称 (基本形)



⑥ 非対称 (応用例)



2) 階段状の連続構成の制作

(おもて)

(うら)

